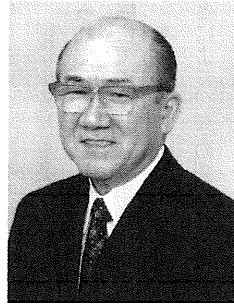


新年のご挨拶



北原 保雄

(独立行政法人日本学生支援機構理事長)

明けましておめでとうございます。

旧年中は本機構の事業につきまして、皆様には格別のご協力ご支援を賜り誠にありがとうございました。創設四年目を迎え、決意を新たにして諸事業に取り組んで参りますので、本年もよろしくお願いいたします。

本機構は、学生生活支援事業、奨学金貸与事業、留学生支援事業の三つを大きな柱とし、社会のグローバル化や学生の多様化に対応し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な優れた人材を育成するとともに、国際理解・交流の促進を図ることを目的としております。今年度は、全国に設置している一二支部の再編・機能強化などを行い、全国の高等教育機関における学生支援を先導する共同利用的中核機関として、日本人学生と外国人留学生の両方を対象に総合的な支援・施策の一層の充実を図って参ります。

学生生活支援業務においては、学生の多様化、複雑化、専門化が一段と進む中、きめ細かな対応が求められています。本機構では、学生生活支援業務の直接の担い手である大学との協力関係のもと、学生生活支援業務に携わる教職員の皆様方を対象とした情報提供事業、研修事業、調査研究事業などを通じて、学生相談、キャリア支援の一層の充実を図って参ります。

なお、情報提供事業においては、昨年六月より「学生支援情報データベース」の公開を開始いたしました。このデータベースでは、大学等における学生生活支援活動をサポートするため、全国の大学等における学生生活支援の取組の情報、学生生活支援に関する調査統計や白書・答申、論文などの多様な情報源を一元的に収集・蓄積・発信することを目指しております。各高等教育機関の教職員の皆様方をはじめ、多くの方々のニーズに応えながら、一層有益な情報をご提供できるよう努力して参りたいと思っております。今後とも、ご協力ご活用ほど、よろしくお願いいたします。

障害学生の修学支援については、障害学生の修学支援策をメニュー形式で提供する「障害学生修学支援メニュー」を大学等の教職員に向けて公表しました。また、全国の大学等をネットワーク化する「障害学生修学支援ネットワーク」の構築に着手、大学等における障害学生修学支援担当者を対象とした相談事業を開始しました。今年はこちらをさらに充実していきたいと考えております。

奨学金貸与事業においては、意欲と能力のある学生・生徒に「教育を受ける機会」を保障し、自立した学生生活を送れるよう一層の充実を図って参ります。高等教育機関へ進学する学生・生徒の多様なニーズに対応した奨学金制度の充実等更なるサービスの向上に努めて参ります。

留学生支援事業においては、留学情報の提供、留学生交流の双方の拡大、優秀な留学生の確保等が強く求められていることを踏まえ、留学生の日本企業等への就職活動の支援、これまで日本への留学生数が少ない国・地域に重点をおいて事業を展開するなど、各種支援業務の推進を図って参りたいと考えております。

本誌をはじめとして、ホームページ等各種メディアを通して、様々な学生生活支援に関する情報提供を行うことにより、きめ細かく学生生活支援活動をサポートして参ります。

以上、年頭に当たり学生生活支援業務の課題と取組の概要を中心に申し上げます。

今後とも業務の一層の効率化を図り、事業の更なる充実発展を目指して努力いたします。旧来にも増してご協力ご支援をいただきたく重ねてお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。